

あるーくこうしゅう 歩いて発見 果樹園交流のまち 甲州市

自治体情報

人 □ 35,977人

標準財政規模 9,332,403千円

担当課 山梨県 甲州市 総務企画部政策秘書課

電話 0553-32-5064

ホームページ <http://www.city.koshu.yamanashi.jp>

事業期間 平成20年度から平成21年度まで

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

これまで観光客に対しては、パンフレットを活用して市内のウォーキングコース等の観光PRを行っていた。しかし、情報に対する観光客の志向・ニーズが変化してきていることから、ホームページや今や人口の80%が所有する携帯電話を活用した情報提供を充実するとともに、人的資源であるマンパワーを充実させ、観光客の志向・ニーズに適った本当に必要とされている情報を提供していきたいと考え、本事業を実施することとした。

2 事業内容（目的・目標・方策）

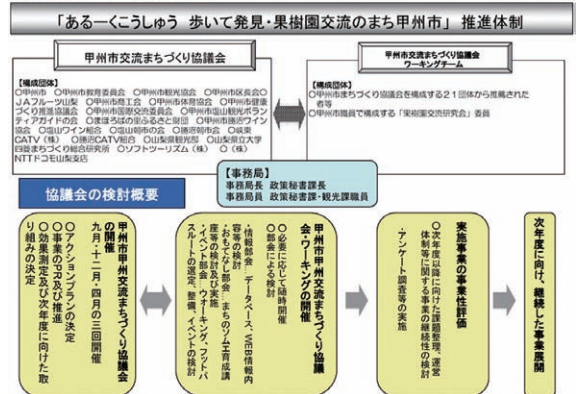
本市では、「まち歩き」を主体としたまちづくりを進めている。まちを歩くことは、観光施策であるとともに、市民にとっては、来訪者の視線でまちの魅力を見つめ直すことができる。市民が主体的に参画して魅力あるウォーキングルートづくりにも取り組み生涯学習の推進にも通じる。さらに、まち歩きは有酸素運動でもあり市民の健康づくりにもつながり、一石二鳥にも三鳥にもなる取り組みであると言える。

本事業の目的は、観光客の移動手段を問わず、いつでも必要な時に必要な情報を入手できる環境を提供することである。ICTを活用した観光ルート案内や、まちのソムリエ（まちの良さをホスピタリティを持って紹介できる市民）養成講座を開催し、人対人の応対による観光情報提供手法を構築することを目標としている。フットパスウォーキングイベント等を開催し、使いやすさなどを検証する実証実験も実施している。

3 施策の開始前に想定した事業効果

- (1) まち歩きに利用できるホームページを整備することで、テーマごとのフットパス・ウォーキング等のルート案内の閲覧と、GPS・マップコードを活用したルート案内機能利用が可能となり利便性が向上する。
- (2) まちのソムリエ講座や、ソムリエ検定eラーニングを実施することで、ホームページや携帯電話を活用するなどし、地域の文化資源やホスピタリティマインドを学ぶことができる。

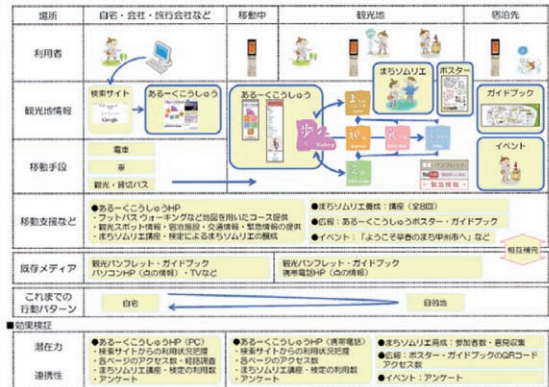
協議会とワーキンググループ



4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

利用者の立場に立った情報とはどういったものか、交流まちづくり協議会において議論を重ねた。専門家の意見を踏まえてもすべての情報を網羅した「最高」のものに近づけることは難しく、最終的に「歩く」ことを主題とし、フットパスウォーキングコースを紹介するホームページとした。

まちのソムリエ養成講座への申し込み者は150人を越え、地域の歴史文化やおもてなしの手法を学びたいという意欲ある市民が数多く講座に参加した。その中から、86人のまちのソムリエが誕生した。できるだけ多く参加してもらえるよう、8回の講座のうち4回の座学講座については、昼夜2回、同じ内容で講座を開催するなどした。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

(1) 従来は市販のガイドブックやインターネット、観光パンフレットに頼っていた観光情報等が、現地で携帯電話を通じて入手できるようになり、従来の観光スポットだけでなく、フットパスによる豊かな自然 歴史と文化を堪能することができるようになった。まちのソムリエ講座の受講により、市民が甲州市に誇りを持ち、いきいきと生活するなかで、来訪者をおもてなしの心で迎え入れ、心と心の交流が促進されるようになった。

(2) 当初予定しなかった効果としては、「旧市町村を超えた地域の文化を学習することで、甲州市としての魅力を新たに認識することができた」ということであり、まちのソムリエ講座受講者からそうした意見が数多く寄せられた。観光資源を発掘し磨きを掛けることで、従来の観光資源消費型から脱却し、観光まちづくりの視点での観光施策が展開できるようになった。平成21年度も引き続き「まちのソムリエ講座」を開催し、第2期のまちのソムリエを養成する。



予算関連データ 甲州市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
14,000千円		9,000千円	0千円	0千円	0千円	5,000千円
①～④の名称・所管等	名称	平成20年度まちめぐりナビプロジェクト				
	所管	国土交通省				
	金額	9,000千円				
	補助率	委託事業定額				